

## 藤沢地区の費用対効果分析に関する説明資料

### 1 地区の概要

- ① 関係市町村：岩手県東磐井郡藤沢町
- ② 受益面積：508ha
- ③ 主要工事：農地造成13団地459ha、区画整理11団地36ha、貯水池 2 箇所、揚水機場 2 箇所、幹線用水路5路線、支線用水路10路線、排水路 4 路線、支線道路A40路線
- ④ 国営事業費：39,291百万円
- ⑤ 事業期間：昭和57年度～平成13年度（計画変更：平成8年度、完了公告：平成14年度）
- ⑥ 関連事業：該当なし

### 2 総費用総便益比の算定

#### (1) 総費用総便益比の総括

(単位：百万円)

区 分	算定式	数 値
総費用（現在価値化）	①	86,159
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	②	61年
総便益額（現在価値化）	③	86,828
総費用総便益比（B/C）	④=③÷①	1.00
基準年		平成19年度

#### (2) 総費用の総括

(単位：百万円)

区 分	施設名 (又は工種)	事業着工 時点の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間 における 再整備費 ④	評 価 期 間 終了時点の 資 産 価 額 ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	農地造成	—	23,691	—	—	—	23,691
	区画整理	—	560	—	—	—	560
	相川ダム	—	25,981	—	—	1,654	24,328
	千松ダム	—	10,323	—	—	683	9,640
	相川揚水機	—	1,029	—	503	120	1,412
	千松揚水機	—	119	—	64	15	168
	幹線用水路	—	4,014	—	658	543	4,129
	支線道路	—	9,361	—	1,370	1,134	9,597
	計	—	86,284	—	5,103	5,227	86,159
その他	—	—	—	—	—	—	
合 計	—	86,284	—	5,103	5,227	86,159	

※主な施設を事例として示し、その他については省略している。

※表示単位未満の数値を四捨五入したので、総費用とその内訳は一致しない場合がある。

(3) 年総効果額の総括

(単位：百万円)

効果項目	区分	年総効果 (便益)額	効果の要因
<b>食料の安定供給に関する効果</b>		786	
	作物生産効果	585	農地造成等の整備を実施したことにより、農作物の生産量が増加している効果
	営農経費節減効果	4	区画整理や用水施設の整備を実施したことにより、営農経費が節減している効果
	維持管理費節減効果	△ 78	用水施設等の整備を実施したことにより、維持管理費が増減している効果
	営農に係る走行経費節減効果	275	農道の整備を実施したことにより、農産物や生産資材の輸送、通作などの走行経費が節減している効果
<b>農業の持続的発展に関する効果</b>		2	
	耕作放棄地防止効果	2	区画整理等による農用地の改良や土地改良施設の整備に伴って耕作放棄の発生が防止され、作物生産が維持されている効果
<b>農村の振興に関する効果</b>		708	
	一般交通等経費節減効果	349	農道の整備を実施したことにより、一般交通(農業以外の交通)の走行経費が節減している効果
	雇用促進効果	359	農地造成の実施により法人経営等が導入され、地域雇用が増加している効果
<b>多面的機能の発揮に関する効果</b>		435	
	都市・農村交流促進効果	435	事業の実施により整備された施設の水辺環境や景観が、地域のレクリエーションの拠点または観光資源として利活用されている効果
合計		1,931	

## (4) 総便益額算出表

(単位：百万円)

評価 期間	年 度	割引率 (1+割引率) ①	経 過 年	作物生産効果						割引後 効果額 合計	備考
				更新分 に係る 効果 年効果 額 ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計			
					年効果 額 ③	効果発 生割合 ④	年発生 効果額 ⑤= ③×④	年効果 額 ⑥= ②+⑤	同 左 割引後 ⑦= ⑥÷①		
1	S56	0.3607	-26		585	0.0%	0	0	0	0	着工
2	S57	0.3751	-25		585	0.0%	0	0	0	0	
3	S58	0.3901	-24		585	3.5%	20	20	52	134	
4	S59	0.4057	-23		585	8.9%	52	52	128	328	
5	S60	0.4220	-22		585	18.9%	110	110	262	670	
6	S61	0.4388	-21		585	32.6%	191	191	434	1,111	
7	S62	0.4564	-20		585	53.0%	310	310	679	1,737	
8	S63	0.4746	-19		585	67.8%	397	397	835	2,136	
9	H 1	0.4936	-18		585	83.9%	491	491	994	2,542	
10	H 2	0.5134	-17		585	94.2%	551	551	1,073	2,744	
11	H 3	0.5339	-16		585	95.7%	560	560	1,048	2,681	
12	H 4	0.5553	-15		585	97.9%	573	573	1,031	2,637	
13	H 5	0.5775	-14		585	100.0%	585	585	1,013	2,590	
14	H 6	0.6006	-13		585	100.0%	585	585	974	2,490	
~~~~~											
21	H13	0.7903	- 6		585	100.0%	585	585	740	2,443	工事完了
22	H14	0.8219	- 5		585	100.0%	585	585	712	2,349	完了公告
23	H15	0.8548	- 4		585	100.0%	585	585	684	2,259	
24	H16	0.8890	- 3		585	100.0%	585	585	658	2,172	
25	H17	0.9246	- 2		585	100.0%	585	585	633	2,089	
26	H18	0.9615	- 1		585	100.0%	585	585	608	2,008	
27	H19	1.0000	0		585	100.0%	585	585	585	1,931	基準年
28	H20	1.0400	1		585	100.0%	585	585	562	1,857	
29	H21	1.0816	2		585	100.0%	585	585	541	1,785	
30	H22	1.1249	3		585	100.0%	585	585	520	1,717	
31	H23	1.1699	4		585	100.0%	585	585	500	1,651	
~~~~~											
61	H53	3.7943	34		585	100.0%	585	585	154	509	
合計 (総便益額)									29,016	86,828	

※経過年は基準年からの年数。

※作物生産効果額を事例として示し、その他の効果項目については省略している。

※表示単位未満の数値を四捨五入したので、数値が一致しない場合がある。